

大腿骨近位部骨折センター

患者さんの骨折後の健康寿命延伸をめざして。

高齢化社会に伴い大腿骨近位部骨折は増加しています。その中で地域の健康寿命延伸への貢献を目的に当センターを設立しました。低侵襲で早期に機能回復がはかれる手術手技と麻酔の実践、新たな骨折予防にむけての骨粗鬆症治療の地域連携、骨折後の機能回復に対して多職種による積極的なサポートに取り組んでいます。

2015年
7月開設

治療

- 迅速な応需
- 24時間以内の手術
- 精度の高い初期固定
- 全身状態に合わせ、回復を妨げない麻酔法

地域 貢献/連携

- 手術後の新たな骨折予防に向けた骨粗鬆症治療の医療連携
- 地域の健康寿命延伸のために



機能 回復

- 多職種との情報共有
- 多職種の職域を超えたサポート
- 入院中のあらゆる場面の支援

設立の背景・経緯・思い

整形外科では2007年より外傷疾患の二次救急医療に尽力してきました。治療に携わった外傷疾患の中で最も多かったのは高齢者で多く発症する大腿骨近位部骨折でした。同骨折は生じるとその後のQOLに影響をきたします。当初より同骨折の治療と回復に対して積極的に取り組んできました。2013年度は大腿骨近位部骨折に関して愛知県下有数の治療実績を誇りました。また、手術件数のみならず患者さんや連携医療機関から手術後の回復において高い評価を頂いてきました。更なる高いQOLへの回復が得られ健康寿命を延ばすために全病院規模で対応すべくセンターの設立に至りました。豊かな高齢化社会となるようにより良い医療を提供していく所存です。今後ともよろしく願い申し上げます。

大腿骨近位部骨折の手術件数推移

